

UA神奈川学習センター なつだより

2002/7/1 発行

第5巻第3号(通巻19号)

目次:

特集

面接授業 2

エッセイ 4

5

フェスタ・ヨコハマ

学生団体・サークル
のお知らせ 6

放送大学神奈川学習センター

〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1

TEL:045-710-1910

FAX:045-710-1914

<http://u-air.net/kanagawa/>

E-Mail:social@u-air.ac.jp



[イラスト:坂戸五葉]

特集： 面接授業を 受けて

面接授業『東大寺大仏制作技術』を受講して

永井 藤樹

昨年(2019)の12月1日と2日に、奈良国立博物館で行われた奈良学習センターの面接授業『東大寺大仏制作技術』を受講しました。奈良国立博物館は、奈良公園の一角、東大寺・興福寺の近くにあり、講師は松浦正昭先生で、奈良国立博物館の仏教美術研究室長をなさっている方です。

東大寺の大仏建立は、仏教による国家鎮護を目指した聖武天皇が発願されたことは、昔の修学旅行でも教わっていました。聖武天皇が大仏建立の詔を出されたのは、流浪中の近江の国紫香楽宮に滞在していた時のことで、この地で塑像(中子)の原型を作っていますから、当初紫香楽での建立を予定していたこととなります。けれども、建立に至らず失敗に終わっています。

その後長く続いた遍歴の旅も終わり、出発点である平城京に戻って、建立計画を現在の地に移したのが745年で、天平17年になっていました。一年余をかけて塑像を作り、鑄造に二年、手直しと仕上げに五年をかけ、その間に建物(大仏殿)も造っています。失敗から学んで、ようやく実現したということなのでしょう。

東大寺大仏は、座高が15m近い威容を誇るルシャナ仏で、現存する世界最大の金銅仏です。もっとも、この大仏以上に巨大な石仏はすでにありましたが、金属で制作された仏像はありませんでした。

つまり、当時のハイテク技術による仏像制作ということになります。その技術は滅亡した百濟から渡来した百濟人の技術者集団が持ってきたものです。この技術がどれほどハイテクであったかは、大中華帝国の則天武皇ですら、巨大金銅仏の制作を技術的見地から断念したことからもわかります。大国の中国であっても出来ないことを、小国の日本でもやれるという自信

を持ったこととなります。

当時の日本の人口は500万人と推定され、その半数がこの工事に駆り出されたという未曾有の大事業であったにもかかわらず、かなり場当たり的なところもあったようです。制作途上で肝腎の銅が足りないことがわかり、粗悪銅を鑄込んで急場をしのいでいます。その証拠は、大仏の胸の辺りの色が顔その他の部分と違うことに現れていて、素人目にもはっきりとわかります。もっとも当時は全面に金メッキを施したので、それでも見られたでしょうが、現在のようにメッキがはがれていては隠しようがありません。

この鍍金のために金を440kg使っています。しかし、当時の日本では産金していなかったため、はじめはメッキする予定はなかったのではないかと思われます。それが亡命百濟人の王族の一人敬福が陸奥の国(今の宮城県)の黄金沢で砂金を発見したので、急遽鍍金しようということになったようです。いずれにしてもメッキを開始したのが752年の3月14日、翌月9日には何としてでも開眼供養にこぎつけようとして、この間20日余の期間しかなく、目のまわりを申しわけ程度にメッキしたということですから、何とも奇妙なお顔の大仏さんになったと思われれます。

奈良の大仏の胴内はガランドウです。これは、鑄造後に不要になった中子を取り外したからです。土に切りわらやモミガラなどを混ぜて、しっかりと固めて造った塑像の表面に「型持」というものを埋め込みます。画鋏を大きくしたようなものを想像して戴けると、わかるとおもいます。塑像に粘土を押しつけて分割式の外型を作り、次いで「型持」を残して塑

像の表面を削り取るという「削り中子法」と呼ばれる技法を使用しています。削る厚さは平均で5.5cmということです。削った後先程の外型を当てると中子が付いている「型持」が突起状になっているので空間ができます。この隙間に溶かした銅合金を流し込みます。大仏は、これを下から8段に分け一段毎に土を盛って、盛土の上に炉を築き分鑄する方法で完成させています。

実は、私は工業高校の機械科を卒業しているため、学校の実習で何度か鑄造作業をやっています。ですから、鑄造について、いくらかは知っているつもりです。鑄造で難しいのは、複雑な型の隅々にまでどうやって湯(溶けた金属)を流し込むかということと、注湯に伴って発生するガスをどのようにして外に逃がすかということに尽きます。ですから、天平時代の彼らが採用した「削り中子法による分鑄方式」が大変理にかなった技法であったことがよくわかります。

松浦先生は、紫香楽での失敗は分鑄の際の盛土の処分が、かの地の地形の関係でうまくいかなかったのだらうと考えておられます。東大寺の南大門と中門の間が必要以上に空いているのが何よりの証拠だとおっしゃっていました。大仏の制作技術以外にも、何故大仏はあのように巨大な物でなくてはならなかったのか、など次から次へ疑問が湧いてきました。当時の人々の世界観・宇宙観、そしてその表現方法にも興味尽きないものがある面接授業でした。

特集：
面接授業を
受けて

数字考【四】

死より四つ葉のクローバー

鈴川 幸子

今年の正月に、19歳の次男にかまぼこと伊達巻を切らせてみたら、我が家が四人家族と考えたからなのか、四切れずつに並べた。私は親から「縁起の悪い数字だから四はいけない」と言われて育ったが、今の若者は全く気にしていない。【四】は死につながるというので避けられていたが、現在は身近に死がなくなり、死に対する恐れも薄れたからであるのか。

ここに「三浦時明寄進状」（『神奈川県史』資料編3古代・中世(3)上 3226「鶴岡八幡宮文書」）がある。1997年後期の面接授業「日本中世文献講読」で高橋秀樹先生に教えていただいた文書（もんじょ）である。

いろいろな内容を含む文書だが、ここでは年の表記だけを取り上げてみたい。

日付は「正慶二二年八月十五日」とあり、年の部分を22年と読みそうになる。しかし、当時22は「二十二」あるいは「廿二」と書くのが普通で、「二二」と表記することはなかった。「二二」とは「2×2」で「四」、すなわち正慶四年（1335）のことである。同じ「正慶二二年」の表記は「北条時行奉行人連署奉書」（前掲書 3225「法華堂文書」）でも用いられている。この正慶は北朝・南朝の皇位継承に絡んで、「東寺長者補任（ぶにん）」正慶2年（1333）条には「正慶二年癸酉五月七日以後この年号を用いず」と記載されている問題の多い年号でもあった。

このように年を書き換えるほど忌み嫌われた【四】であるが、この地球上には幸福のシンボルとされる「四葉のクローバー」もある。

私は多くの先生方や先輩にお世話になり、いよいよ卒論をスタートさせることにしたが、背骨を痛めて寝込む日が多くなり、今年をあきらめようかと思った。しかし、同じ【四】でも天国と地獄ほど違う「四葉のクローバー」に思いをめぐらせ、卒論を開始する事にした。今は卒論の完成に向かって前進するだけである。

三浦時明寄進状

奉寄進 鶴岡八幡宮

上総国市東郡内年貢用途伍拾貫文事

右旨趣者為天下安穩太平自身

壽福長遠息災康樂子孫繁昌奉

寄進之状如件

正慶二二年八月十五日若狭守時明(花押)

【読み下し】

寄進し奉る 鶴岡八幡宮

上総の国市東郡内年貢用途五十貫文の事

右の旨趣は天下安穩泰平、自身壽福長遠、息災康樂、子孫繁昌のため寄進し奉るの状くだんのごとし

正慶四年八月十五日 若狭守時明(花押)



エッセイ

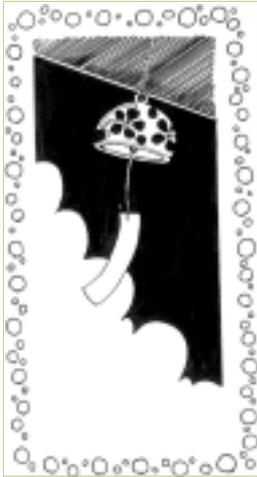
放送大学を4年間続けてみて学んだことと、将来の夢

佐々木 健充

私は15才のとき、統合失調症にかかりました。本格的に病気が悪くなったため、美術学校を中退し精神病院に入院しました。そして、退院後一般企業に就職しました。

ところが、オーバーワークが祟って症状が悪化して(再発して)、それまで7年間働いていた会社を辞めました。再発したときには、会社の悪口を怒鳴ったりして、一年位大変な状態でした。

その後、何かの縁で放送大学の科目履修生として入学して、丸4年が経って、今は全科履修生として在学中です。この4年間をふりかえってみますと、今までとった単位は16単位。おもに、哲学、芸術などを学んで来ました。在学して良かったことは、統合失調症でも大学レベルの勉強ができることがわかったことです。それから苦労すれば苦労する程、人に対して「やさしく」なれることを理解したことです。日常茶



飯で両親につらくあたってたりして、人間としてはまだまだ不完全ですが、できるだけ自分の欠点をなおすようにつとめたいと思います。今はデイケア・作業所に通いながら、「自己を見つめる」という科目と「芸術の理論と歴史」をマイペースで続けています。

自分の部屋も「希望Studio」と命名して、デイケアの友人にCDのダビングサービスなどをしています。将来は良質な音楽を提供するStudioにしたいと思います。

統合失調症の決定的な治療法は、まだみつかっていません。薬物療法と精神療法を続けながら、これからも放送大学を続けて、学友(放送大学の)やデイケアの友だち、作業所の友だちとも、仲良く暮したいと思います。毅然とした態度で取り組みれば、大学もデイケアも作業所も得るものは大きいと思います。

今までの夏、そしてこれからの夏

今までは、夏が来ると気が滅入りました。本来楽しめるべき夏なのに、なぜか？ 私はショッピングセンター(以下SCと言う)に勤めています。SCには不特定多数の人がお見えになります。リピターの方もいますが、初めての方も多数います。それだけに店側としては、一生懸命にサービス環境に心掛けます。たとえ、小さな事でも悪い印象でお帰りさせてはいけません。次から来なくなるからです。

私は、いわゆる設備屋でした。自分の店に対して、次のように思いながら勤め続けて参りました。館内をいつも「きれいで、明るく、いい空気を供給して、お客様をお迎えしよう」と。

ところが、夏の陽気はどんな状況で来るのか？ さっぱり分かりません。一応マスコミなどで発表されますが、夏が来ないと本当のところは、分かりません。「きれいで、明るく」はなんとかクリア出来たとしても温

度対応(空調)には苦労します。

さて、夏が来ました。通常状態の夏なら問題はありません。しかし、酷暑といわれる夏が来ますと、ひと苦労です。設計値的に異常が続くのです。かと言って、これを放置するわけにはいきません。お客様は帰ってしまいます。逃げてしまいます。そこで、その時点での出来る限りの手を打ちます。

もっとも、暑ければ暑いなりに、空調機械は稼働します。正にフル稼働です。しかし、実は電力の観点からすると、制限があります。この制限内で出来る限りの策を講ずるのです。

まず、当然の事ですが、自分自身で館内を回ること。そして自分の体感で温度がわかるように日ごろから訓練し、対応に結び付けます。「バック」と呼ばれている、お客様の目に触れない所の照明をoffします。昼間稼働を変更出来る機械は夜用に変更します。さらに計画的に最前線以外の機械を休ませてしまう(電源をoffしてしまう)などなど。

こんな対策を採り、監視盤と睨めっこ

しながら、最高度の操作をします。さて、一日が終わりました。今日は、お客様にご迷惑を掛けなかったかな？と反省しつつ、その日を終えます。もちろん、操作のみならず、能動的アクションを取るためのデータ管理も、しっかり整理します。

こうして、夏の期間中、毎日々々奮闘します。これまで、過去15年間担当してまいりました。これが、私の今までの夏でした。いつも夏を迎える時、この事が脳裏を走ります。

さて、今年の夏。今までの重責はありません。この3月に職を離れたからです。したがって今年の夏はルンルン気分です。そうです、私は只今大学生です。卒業を目指します。

勉強の苦労も今までの夏の重圧を考えれば凌げると思います。そして友達を一杯創りたいと思います。今年からは私主導の夏です。今年から夏を満喫します。

山中 角二



神奈川学習センター学園祭 フェスタ・ヨコハマ開催予告

名称：第16回神奈川学習センター学園祭 フェスタ・ヨコハマ

目的：教職員と学生相互の親睦をはかり、交流の輪を広げる。

日時：2002年8月25日(日)午前9時30分～15時

場所：神奈川学習センター講義室および講義室前空き地

記念講演：

10時30分～12時30分
(質疑応答を含む)第8講義室

講師：森谷 正規 先生

演題：『社会需要が日本を救う』

いまの長引く不況は、需要が足りないのが根本原因である。そこで、環境破壊など社会問題を解決するために大いに努めることによって大きな需要を創り出すべきである。

そのためにさまざまな技術に応用することができる。その全体像を明らかにする。

・囲碁・将棋大会：9時30分～12時30分第4講義室

・俳句・川柳大会：参加者からそれぞれ一句を投句してもらい、参加者全員の投票によるコンテスト(交流会場に掲示)

・ビンゴ大会・交流会：12時40分から講義室前の空き地。バーベキューやゲームをしながら、交流会を行います。

・参加券：行事に参加する場合は参加券が必要です。単位認定試験中に、神奈川学習センターの1階ロビーで頒布します。試験期間中学習センターに来られない方は、葉書での申し込みを受付ます。神奈川学習センター内フェスタ・ヨコハマ実行委員会宛に御送付下さい。当日売りは神奈川以外の学習センターの人に限らせていただきます。一人一枚

1,000円。同伴の小児は無料。

・お問い合わせは、TEL：045-772-2632 足立まで。

以上です。多くの仲間のご参加をお待ちいたしております。

2002年6月25日

フェスタ・ヨコハマ実行委員会

フェスタ・ヨコハマ実行委員会は、神奈川学習センターのサークル7団体(神奈川放友会、人間学研究会、うえるかむ神奈川、放送大学神奈川合唱団、放たかながわレク・サークル、中国語学習会、放送大学ダンスサークル)と放送大学神奈川学習センター同窓会の有志で構成されています。

学生団体・サークルの お知らせ

うえるかむKanagawa

“うえるかむ Kanagawa”は平成7年から英会話サークルとして活動しています。午前中のフリートーキングは自由参加ですが、毎回テーマを決めなるべく英語だけで話そう努力しています。普段英語で話す機会がない方も、会話能力を低下させたくない方にも貴重な英会話の練習時間となっています。海外旅行の好きな人も多く旅先ではフルに日頃の成果を発揮し、楽しみも倍増しているようです。

午後は、ラジオ講座“レッツスピーク”の教材を利用し、ロールプレイ、会話表現、文法等お喋りを楽しみながら勉強しています。放送大学のテキストでチョット難しいな、と思っておられる方も一緒に勉強しましょう。

又、各支部合同で、“うえるかむ Kanagawa”の母体である“うえるかむ”の行事は年に4、5回行っています。休日だけ、また1年に1度しか出席できない方々も集まり全体の活動をして親睦を深めています。

海外のオープンユニバーシティとの交流も今迄にタイ、台湾、イギリスと実現し、オーストラリアでのホームステイも楽しみました。皆様もお仲間になりませんか。

*神奈川例会

第2, 第4 水曜日

フリートーキング 11:00 ~ 12:15

午後の例会 13:00 ~ 15:00

*各支部合同行事

2, 3ヶ月に1度、休日

サークル参加ご希望の方は下記へお問い合わせ下さい。

野末 : 044-287-0270

星 : 045-844-9647

(星 記)

放大かながわレク・サークル

活動報告

4月30日神奈川学習センター前の「大岡原っぱ」で、放送大学広報活動ビデオの撮影が行われました。当レク・サークルが取材対象になり、活動種目の一つであるTBG(ターゲット・バードゴルフ)競技の模様を取材してもらいました。当日は、撮影会社のスタッフ4人とともに、約2時間にわたって撮影に協力しました。

後日、その他の広報活動ビデオとともに、編集・放映される予定とのことです(TBGはバトミントンのシャトルに似たボールをゴルフのPWを使用して打つミニ・コースのゴルフみたいなものです)。

ゴールデン・ウィークの期間中でしたので、レク・サークル会員の集まりが気がかりでしたが、TBGをこよなく愛する会員と、さらに、今回の撮影趣旨をご理解いただいた横須賀市TBG協会会員の方々が、技術指導と支援に駆けつけてくださり、総勢25名の競技者が集合しました。定例の練習日とは違って、「大岡原っぱ」いっばいに正規のコースを5ホール設定し、上記25名が競技形式でプレイを楽しみながらの撮影となりました。

終了後、競技でホールインワンを達成した方に粗品進呈などもあって、肌寒い当日の原っぱに熱気が漂ったようにも感じられました。

センターの中野係長さんも心配して見に来られましたが、順調な撮影に安堵の様子でした。

「放大かながわレク・サークル」もこれで全国区になったなどと、浮かれているわけにはまいりません。癒しのサークル?として、新入会員のさらなる加入を期待しております。

そこでサークルのご紹介をさせていただきます。(サークル活動をしながら体育実技の単位が取れます)。

1. 通常活動種目

レクダンス・フォークダンス:

練習日毎月第二、第四火曜日

PM 1時~3時

(センター内)

TBG:

練習日毎月第二、第四火曜日

AM 10時~12時(大岡原っぱ)

2. 校外活動種目(随時)

TBG、オリエンテーリング、

ウォークラリー他

3. 連絡先(入会等の)

代表者: 中嶋 博子

Tel / Fax : 0467 - 83 - 8203

(文: 佐々木 恭夫)

人間学研究会

【例会予定】

7月14日(日)「幕末の社会風刺」

8月25日(日)神奈川学習センター学園祭 フェスタ・ヨコハマに参加。

9月14日(土)「庶民の暮らしが息づく『江戸川柳』を楽しむ」

10月19日(土)内容未定

11月17日(日)内容未定

例会は、毎回午後1時00分からです。

卒業研究の発表、ワークショップ、講演会などを行っています。(日程は、変更される場合があります。)

例会および人間学研究会全般についてのお問い合わせは、Tel: 044-355-3865高橋まで。

【歩きましょう】

7月1日~9日「トムラウシ山・十勝岳・幌尻岳・後方羊蹄山登山ツアー」

7月20日(土・祝)「四阿山=アズマヤマ登山」

8月2日~6日「朝日連峰縦走登山」

9月以降も、登山、ハイキング、歴史散歩などを計画中です。

歩きましょうについてのお問い合わせは、
Tel: 0468-41-7937 大出
Tel: 0466-37-0191 鈴木 まで。

神奈川放友会

サッカーのワールドカップも終わり放送大学は単位認定試験の季節です。

神奈川放友会は神奈川学習センター所属の学生団体で、会員相互の交流の輪を拡げて親睦を図り、学習を援助するサークル活動を行っています。

- ・行楽と研修を兼ねた旅行
- ・一泊研修旅行(大学本部・図書館等)
- ・旅にいこう会(行楽地・名所旧跡等)
- ・学習履歴表に依る情報交換
- ・会員相互の研究発表
- ・パソコン勉強会

特にパソコン勉強会には放友会の半数近くが参加しインターネット、E-Mail、ワープロ等々を勉強しています。

放送大学での学生生活をより一層充実させ交流の輪を拡げたい方の入会をお待ちしています。

§ 行事予定(7月~12月)

7月14日(日) 例会

8月25日(日) フェスタ・ヨコハマ

9月14(土)~15(日) 一泊研修旅行

10月上旬 新会員勧誘、歓迎会

10月27日(日) 10月旅にいこう会

11月24日(日) 11月例会

12月8日(日) 忘年会

パソコン勉強会は別途スケジュールで実施しています。

◎ 照会/入会申込先

〒251-0025 藤沢市鵜沼石上1-13-13-506

芝崎 芳和

Tel/Fax 0466-25-0090

E-Mail shibasun@gray.plala.or.jp

放友会活動報告 オハミ? バーベキュー大会

放友会のパソコン愛好者の集い「パソコンを楽しむ会」の親睦会が4月4日行われた。

私は開始時刻9時半の約20分前に会場に着いた。二俣川子供自然公園内のバーベキュー広場である。そこは桜の林の中だった。

暖かな春の日差しと快いそよ風、満開の「桜の花」の下でバーベキュー大会、という筋書きだったが何故か桜は咲き急ぎ、3月中に咲き、そして散ってしまった。すでに葉桜、強風も吹き荒れ、筋書き通りなのは春の日差しだけだった。だが、光る若葉が美しい。

さあ、「桜の葉」の下でナ抜きのおハミ、お葉見?」だ。

会場の8番テーブルにはまだ誰も居なかった。幹事の永井さんと木村さんは管理棟へ行ったようだ。準備は大方終わって、テーブルの上には沢山の材料やお酒が置いてあり、ワクワクしてくる。

が、次の瞬間「オヤッ」と思った。段ボール箱に詰まった材料の間からリンゴが見える。そのリンゴが何と囓ってあるではないか。幹事さんが朝早くからの準備がおなかが減って囓ったのかな。失礼なことを考えたとたん「カー!」。上を見ると後ろの木のとっぺんにカラスが一羽、下を見ている。幹事さんのせいにしては気の毒と、良心の呵責に耐えかね白状したのかカラス君。

やがてみんなも集まり、会長の吉田さんも来られて合計13名。会長は早速いつものように難しいお話を始めた。

「木の枝を見ながら来たけど、みなフィボナッチ数列に従って枝が出ている、」とか。

「入学したのにまだ勉強するのぉー」と嘆く普通の大学生とは違い、我ら放大生は向学心に燃えている。会長の難しいお話にも真剣に耳を傾けていた。・・・でもちょっと難しいかなー。

幹事さんの大活躍で、肉が、野菜が、そばが・・・次々に焼き上がり、パソコンの先生酒井さんの音頭で乾杯、バーベキュー大会が始まった。

お酒も入って、普段でも滑らかな口が益々滑らかになる。

残念ながら出席できなかった古本さんから「女性を働かせないで」と言われていたとかで、ワイワイガヤガヤ騒ぎながら、女性が、ビール片手に食べて居るところをパチリ、証拠写真が出来たと無邪気に喜ぶ。

「本当に女性を働かせなかったかって? ・・ワスレマシタ。」

と、そのとき、さっきのカラスが、ちょっとの際に熱い鉄板の上から肉をくわえて飛び立った。チャンスを窺っていたのだろう

か。

これを機に話題が変わる。

「カラスに頭を蹴られたことがあるよ」と酒井さん。雛を育てているカラスが人を攻撃する話はよく聞く。誰かが、「オケガなかったですか」と尋ねる。

すると酒井さん

「ウン、カラスが滑ったよ」。

はじめは、会長の難しいお話を真剣に聞いていた放大生も、酒が廻れば普通の人。こんな雰囲気でも和やかに時が流れていった。

筆者は、ちょっとだけ飲んだ泡盛ですっかりいい気分になり、不覚にも居眠りを始め、「横になったら?」と周りの人に気を使わせてしまった。反省!

それから約一時間、料理もお酒もそして話もまだまだ尽きないが、胃袋の重さが限界に近づいた頃、終了時間も近づいた。

片付けのあと、みんなでゆっくり広い公園の中を散策、出口まで歩き、名残り惜しい気持ちを残しながら親睦会を終えた。

至れり尽くせりの準備をして下さった幹事さんとその奥様、そして沢山の差し入れをして下さった方々他多くの方のお陰で、大変楽しいバーベキュー大会でした。

どうも有り難うございました。

八木秀夫記

放送大学同窓会

5月12日に通常総会を無事終了し、役員一同ホッとしているところです。総会の後に学習センター所長の神代和欣先生による「産業空洞化と闘う中小企

業」を演題とする講演会が行われました。その後の懇談会にも多数の参加者があり、盛況のうちに「総会の日」を終えることができました。

総会が終わり、平成14年が始まりました。今年度からは新会長を迎え、新鮮な気持ちを持ちながら計画して行きたいと思っておりますので、よろしく願います。

「キリン横浜ピアレッジ見学会」

日時 平成14年7月14日(日)

14:00~

目的地 キリン横浜ピアレッジ
京急生麦駅から徒歩8分

集合場所と時間

京急 生麦駅 14:00

費用 3,500円程度

申込 6月末 佐々木 順子

(: 0 4 5 - 4 7 2 - 6 4 8 2)

大花 幸子

(: 0 4 6 8 - 6 6 - 2 1 9 5)

今後の予定

8月25日(日)にフェスタ・ヨコハマへ共催しますので多数の参加をお願いします。

10月にハイキングか見学会を、11月に同窓生による体験発表会、来年2月には今年の2月に開催し好評だった映画鑑賞会を予定しています。なお、上記詳細は会報『波濤』24号(9月発行予定)をご覧ください。今後の行事への多数の参加をお待ちしております。

(片野 記)



お知らせ

放送大学生のための
「文献検索から文献入手まで」

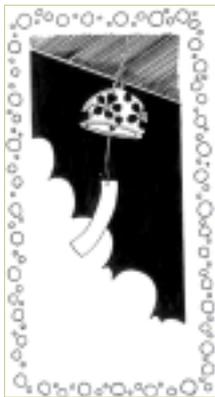
自分の選んだ論文テーマについて、従来どのような論文が書かれてきているのか、自分の卒業論文・修士論文に取り組む前にこれを知っておく必要があります。

ふつう、書籍や論文をひとつずつ見つけては読み、読んでは見つけないというように、読みこなすなかで、それら論文の後ろに掲載されている参考文献から、丹念に芋づる方式に辿っていくのが、文献収集の正統的な道筋だと思います。

けれども、論文に取り組む初期の段階で、網羅的に論文検索を行って、先行研究の7、8割位のリストを作成しておく、全体の見通しを立てる場合に便利です。

このときに、今年度放送大学が加入いたしました国立情報学研究所提供データベースの「機関別定額制」利用が威力を発揮します。「機関別定額制」とは機関(大学等)の単位で申請することにより、機関全体で利用が可能となる制度です。つまり、個人は利用料金を気にすることなく検索ができることとなります。

従来、国立情報学研究所の情報検索については、利用する個人単位での利用申請を行わなければ利用できませんでした。また、学部学生は利用出来ませんでした。けれども今回から、学習センターの端末から行えば学生個人には費用がかからない形態で、放送大学生(学生・大学院生)が利用できます。



Q:国立情報学研究所データベース(NACSIS-IR機関別定額制)へは、神奈川学習センター端末からどのように到達したらよいでしょうか?

A:神奈川学習センターへ行き、キャンパス・ネットワークの自分のIDとパスワードでログインします。WWWのブラウザを立ち上げて、インターネットの放送大学ホームページから、キャンパス・ネットワークに入り、附属図書館の画面で「学内サービス」を選択いたします。そのなかのデータベース(学内限定)でNACSIS-IR機関別定額制を選択すれば、国立情報学研究所の検索入り口に到達できます。機関別定額制では、学外や自宅からのアクセスはできません。皆さんは書籍検索については、インターネットで一般的になっており、慣れているとおもいますので、ここでは学術論文検索について、例を見ましょう。

Q:論文検索を行ってから、その文献コピーを手に入れるにはどのようにしたら良いでしょうか?

A:論文検索には以下のデータベースなどがあります。

- 1. 論文検索
・(1)雑誌記事索引データベース 409万件 1975～ 我が国の主要な学術雑誌に掲載された学術文献の索引情報
・(2)目録所在情報データベース(雑誌)書

UA神奈川学習センター なつだより編集部

発行者：神代和俊
編集者：五十嵐、遠藤、星、加藤、松本、皆川、吉田、村山、石川、坂井
・坂戸五葉さんには、夏向きのイラストを描いていただきました。ご協力に感謝いたします。

ホームページもご覧ください。
<http://u-air.net/kanagawa/>

次回、神奈川学習センター「あき」だよりの特集テーマは、「ふるさと」です。学生の方々の原稿を募集いたします。1200字程度にまとめて9月上旬までに、E-Mailで、あるいはセンター窓口までお寄せください。「放送大学についてのエッセイ」も常時受け付けます。また、「書評」「読後感想文」も400字程度でお願いいたします。奮ってご応募ください。

UA神奈川学習センター

誌 24万件所蔵 36万件 最新版
我が国の大学図書館等が所蔵する雑誌の目録・所在情報

・(3)経済学文献索引データベース 200,000件 1983～ 我が国の経済関係の雑誌等に掲載された論文の書誌情報

など。
2. その他の検索

・(4)研究者ディレクトリ 162,000件 1999年5月現在 日本国内の大学等に所属する研究者のプロフィール・研究課題・発表論文等の情報 などを

ここでたとえば、(1)あるいは(3)(4)のデータベースでキーワード検索し論文名と雑誌名がわかったら、(2)のデータベースでこの論文の載っている雑誌がどこの図書館にあるのかを確かめて、近くの横国大・神奈川大学図書館などで文献コピーを入手してください。また、近くの図書館にこの雑誌がないときには、神奈川学習センター図書室に備え付け(下記PDF文書)の書類で文献コピー依頼をすれば、実費負担で論文を神奈川学習センターへ郵送してもらえます。ただし、このコピー依頼では放送大学生の依頼が集中する時期を避け、論文を厳選して、一回当たりの依頼件数をなるべく少なくして行なってください。

「他大学への文献複写申込書」
<http://u-air.net/kanagawa/pdf/fukusha.pdf>

また、放送大学神奈川学習センターのホームページでも同様の情報提供を行っておりますので、興味のある方はご参照ください。

(<http://u-air.net/kanagawa/reports/2002-523.htm>)

以上